



チューナーに聞くE/Fチューニングの魅力。

「車両や乗り手に合わせた自由なセッティングができるからE/Fチューンはおもしろい。」

NISHIOKA RYUICHIRO Selected

キャブレター以上に乗り味の細かいセッティングができる、インジェクション。自分次第でどんなエンジンにもできるE/Fチューニングをチューナーはどのようなものとして捉えているのだろうか。

photo/T.Masai 増井貴光
text/R.Murofushi 室伏梨華

乗り味を決めるのはチューナーの手腕。

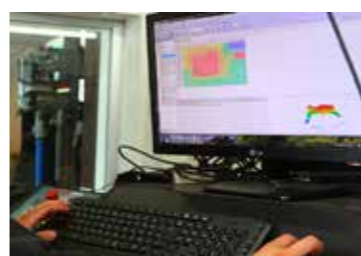
「チューニングはどんなカスタムよりも大切だ。」

と話してくれたのは、カスタムシヨで幾多のアワードを獲得している、セレクトッドの西岡さん。造形美だけでなく、走りの質にもこだわるシヨップでは、シャシーダイナモを導入し、キャブレターはもちろん、インジェクションのチューニングに力を入れている。

チューニング、と聞くと「パワーアップさせ、より速く走るためのセッティング」という印象を持つ人もいるかもしれないが、そうではない。西岡さんが大切にしているのは



セレクトッド代表 西岡竜一朗さん
何度でもやり直すことができ、いくらでも時間をかけられるE/Fチューニング。しかし車両の負担をできるだけ軽減するため、最短時間でセッティングを心がけているそう



キャブレターより細かいセッティングができるのが魅力。

様々な領域ごとに、空燃比などの細かい設定ができる。街乗りの時、高速走行している時など、場面を想定したチューニングの組み合わせも可能

オーダーメイドのセッティングができるのが魅力。

どの回転域で、どんな運転がしたいのか。実際に運転するオーナーの意見を聞き、わからない部分は細いアドバイスをしながら、セッティングプランを組み立てる



セレクトッド取り扱いのセッティング

- デレクトリンク
- サンダーマックス
- パワービジョン
- キャブレター全般



の第一の目的は、パワーを上げることではなく、エンジンの状態を整えることなのだ。
「パワーカーブをキレイな状態にするまでは、ダイナモを導入しているシヨップはだいたい同じだと思います。これだけでもかなり乗り味が快適になると思いますが、ここから先のセッティングが、インジェクションチューニングの醍醐味であり、チューナーとしての実力が試される場所ですね。」

エンジンの負担にならない、乗り手にとってもマシンにとっても快適なセッティングを考える。そのためには知識や経験、感覚といった技量がチューナーには求められるわけだ。「バイクと人、そして環境。様々な要因を敏感に読み取らなくてはいい

ストレスなく、快適に走れるのが魅力的。

アワードを獲得するような、きらびやかなチヨッパーでも、長距離を快適に走れる。その要因のひとつとして、アクセルコントロールを楽にするチューニングが一躍している



ないチューニング。その仕上がりは、まさにチューナーの腕にかかっている。しかし中には、どんなセッティングをしたらいいのかわからない人もいる。そんなときには、西岡さんオススメのチューニングについて説明し、そこから話を広げていくそう。

「オーナーさんに走り方の希望があればそれを実現できるようなセッティングに持っていくますが、もしなければ、僕のオススメを紹介していただきますが、レース仕様というよりは、普段使いで快適に気持ちよく走れるチューニングを薦めますね。高速道路でもあまりアクセルを開けなくても走るようにするか、走り出しをスムーズにする、とか。『馬力アップ』『速い』という考え方も、大きなパワーをスムーズに扱うための動力、という捉え方です。ちなみにモジュールは、デイ

レクトリンクがイチオシ。ほかよりもセッティングが早くできるので、ダイナモで回す時間も少なく、負担を減らせるんです。もちろん、それぞれの商品にいろんな特徴があるので、自分で納得のいく商品を選ぶよう、しっかりと説明しますよ。」

セレクトッド東京店
都内では数少ない、ダイナモ導入のカスタムシヨップ。『日常で乗れるショーバイク』をモットーに、カスタム車の造形美はもちろん、走りの質にもこだわっている。
TEL03-6424-8265 www.selected.co.jp